



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月3日

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ 上場取引所 東  
 コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 達彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 管理本部長 (氏名) 佐藤 哲 TEL 03-5114-5810  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,884	△7.1	301	△53.3	307	△52.3	166	△58.8
2019年3月期第3四半期	10,642	0.8	645	37.1	644	43.5	404	49.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	35.37	—
2019年3月期第3四半期	85.96	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,089	5,674	62.4
2019年3月期	9,266	5,676	61.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,674百万円 2019年3月期 5,676百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△6.7	320	△55.4	320	△55.2	160	△55.7	34.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	4,703,063株	2019年3月期	4,703,063株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	592株	2019年3月期	592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,702,471株	2019年3月期3Q	4,702,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

第3四半期に入り、通商問題や地政学的問題等を背景として世界経済の減速感が強まると共に、国内景気は輸出をはじめとした製造業を中心に景況感の悪化が懸念されるようになりました。一方小売業界は10月以降、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減で、高額品をはじめ衣料品、日用品の売上が大きく減少。その後持ち直し傾向にあるものの消費者マインドの弱さもあり、その影響は今も続いています。さらに台風19号の影響で、首都圏を中心に店舗休業や営業時間の短縮を余儀なくされ、加えて暖冬等天候不順の影響もあり、総じて厳しい業況となりました。

#### （直営店商品販売事業）

主力であるハウス オブ ローゼ直営店販売事業は、消費増税前の駆け込み需要の反動で10月度は既存客売上高が大きく減少しました。その後回復傾向にはあるものの、12月のウインターセールにも一部影響が残りました。しかし反動減対策として、Oh!Babyボディスムーザー200g 3種限定発売や再来店誘致施策等が奏功し、新客数が増加するなど反動減の落ち込みは相対的には軽微な状況で推移しました。一方、出退店につきましては、10月以降退店はなく1店舗出店しましたが、第3四半期末時点の店舗数は211店舗で前年同期末より12店舗純減しており、店舗数の減少に加え、台風や消費増税の影響等により売上高は、前年同期比6.5%減となりました。また、増税対策のための販売促進施策及び海外ブランド化粧品クラブツリー&イヴリンとの契約終了に伴うファイナルセールの実施等により売上原価率や販売促進費が増加、売上高が減少したことも伴い、利益は減少幅が拡大しました。

ネット通販事業は、10月に自社ネット通販サイトを大幅リニューアルし、視認性及び利便性を高めました。これに伴うリニューアルキャンペーンや周年祭等の施策が寄与し会員数も順調に増加、また購買に繋がるサイト閲覧数も伸長し、売上高は前年同期比で19.2%増となりました。

以上の結果、当事業売上高は74億86百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は68百万円（前年同期比69.9%減）となりました。

#### （直営店サービス事業）

リラクゼーションサロン事業は、スタッフ不足が一部店舗で厳しい状況が続いていますが、全般的には徐々に解消に向かっています。オンライン予約システムは売上高、客数とも全体の3割程度を占める等、順調に推移しました。しかしながら消費増税後、顧客の来店頻度が低下傾向にあり、またほとんどの店舗が関東に集中しているため台風19号による影響が大きかったこともあり、売上高は前年同期比15.4%の減少となり、利益も減少幅が拡大しました。

一方カーブス事業は、既存会員様へのサポート強化を徹底することで退会率の低減を図っており、また各種販売促進策も寄与したことから、会員数は一時的に減少したものの当四半期末では、ほぼ前年同期末の水準に持ち直しました。スタッフ数も回復基調にあり、売上高は前年同期比2.7%の微減でしたが、経費削減効果により利益は増加しました。

以上の結果、当事業売上高は10億21百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は70百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

#### （卸売販売事業）

店舗向け卸売につきましては、直営店販売事業同様に消費増税の影響を受けましたが、個人オーナー店舗向け卸売に関しては、10月以降の集客施策効果もあり客数の増加につながりました。また量販店向けは、取引先数の増加及びMD施策等による商品認知度の向上もみられ、両部門合計売上高は、前年同期比で微減に留まりました。一方、その他一般卸売につきましては、中国向け越境EC卸売が市況の変化等により、夏頃から需要が急速に減少したことが影響し、売上高は前年同期比23.2%減となりました。

以上の結果、当事業売上高は13億76百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は1億61百万円（前年同期比50.9%減）となりました。

以上、当第3四半期累計期間における全社売上高は98億84百万円（前年同期比7.1%減）となりました。店舗数減少によりテナント料や人件費は減少しましたが、売上高の減少と売上原価率の上昇及び消費増税関連費用の計上等により営業利益は3億1百万円（前年同期比53.3%減）、経常利益は3億7百万円（前年同期比52.3%減）、四半期純利益は1億66百万円（前年同期比58.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より1億77百万円減少し、90億89百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より1億29百万円減少し、51億54百万円となりました。これは主に売掛金が2億60百万円、商品及び製品が5億1百万円増加し、現金及び預金が9億53百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より47百万円減少し、39億34百万円となりました。これは主に投資その他の資産（その他）が55百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より1億75百万円減少し、34億14百万円となりました。これは主に電子記録債務が2億4百万円増加し、支払手形及び買掛金が1億48百万円、未払法人税等が2億8百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より1百万円減少し、56億74百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が19百万円増加し、利益剰余金が21百万円減少したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表（2019年11月1日決算短信）に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,399,654	1,446,112
売掛金	1,042,014	1,302,818
商品及び製品	1,817,609	2,319,317
その他	25,383	86,639
貸倒引当金	△416	△390
流動資産合計	5,284,244	5,154,497
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	376,093	366,253
工具、器具及び備品(純額)	—	9,700
土地	1,369,668	1,369,668
リース資産(純額)	146,754	170,861
有形固定資産合計	1,892,516	1,916,483
無形固定資産	242,817	243,314
投資その他の資産		
差入保証金	605,038	588,480
その他	1,241,681	1,186,335
貸倒引当金	△124	—
投資その他の資産合計	1,846,594	1,774,816
固定資産合計	3,981,928	3,934,614
資産合計	9,266,172	9,089,112
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	471,275	322,468
電子記録債務	542,274	746,877
短期借入金	—	150,000
未払法人税等	208,935	—
賞与引当金	192,615	48,000
その他	641,203	636,225
流動負債合計	2,056,303	1,903,571
固定負債		
退職給付引当金	1,129,627	1,136,732
役員退職慰労引当金	66,964	73,734
資産除去債務	10,838	9,567
その他	325,746	290,711
固定負債合計	1,533,176	1,510,745
負債合計	3,589,479	3,414,317
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,338,074	4,316,315
自己株式	△655	△655
株主資本合計	6,554,322	6,532,563
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,304	113,165
土地再評価差額金	△970,933	△970,933
評価・換算差額等合計	△877,629	△857,768
純資産合計	5,676,692	5,674,795
負債純資産合計	9,266,172	9,089,112

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	10,642,499	9,884,710
売上原価	3,057,675	2,890,567
売上総利益	7,584,824	6,994,143
販売費及び一般管理費	6,939,587	6,692,826
営業利益	645,237	301,316
営業外収益		
受取利息	1,098	1,098
受取配当金	3,350	2,800
不動産賃貸料	583	774
業務受託料	1,041	3,600
その他	2,623	3,232
営業外収益合計	8,697	11,505
営業外費用		
支払利息	4,607	5,228
リース解約損	4,437	—
不動産賃貸原価	359	351
営業外費用合計	9,403	5,579
経常利益	644,530	307,242
特別損失		
固定資産除却損	3,099	—
特別損失合計	3,099	—
税引前四半期純利益	641,431	307,242
法人税、住民税及び事業税	178,055	59,732
法人税等調整額	59,175	81,168
法人税等合計	237,230	140,901
四半期純利益	404,200	166,340

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。